

<車椅子で快適に、カッコ良く、ハッピーに>有限会社 桑原産業グループ ハンドリー
ム・ワークス！代表取締役 桑原彰三さん

- ・19歳の時、交通事故で脊髄損傷、下半身麻痺に→突然車椅子生活に
- ・入院中、病棟から見える車椅子が気になる 部屋から出たい！という思いの中で・・・車椅子に乗れば病室から出られる！！ネガティブなものではなくポジティブなものに感じた →前向きになれた
- ・大阪のリハビリテーション病院で当事者同士のカウンセリング（ピアカウンセリング）を受ける→社会復帰を意識するように
- ・社会復帰・社会参加は大きな壁を感じた ハンデ・障がいを抱えたと感じた
- ・車椅子会社の福井営業所ができる際に社員になれた
- ・顧客の皆さんの対応をされていて、ツライ経験を度々聞いて、気持ちが沈んだ 福井県は進んでいないと感じた
- ・ポジティブになれることとして障がい者陸上（車椅子マラソン）を始める
- ・福祉分野だけで済まそうという機運を感じる
- ・社会が変わるのを待つのではなく、動ける当事者が動く
- ・地域に関われる範囲で地域に関わらないと、地域から消えてしまう
- ・35歳で独立 あたりきりの車椅子がつまらなく感じた 夢のある車椅子を作りたい！ 楽に移動できる、楽に生活できる
- ・これまでに3000台ほど作る
- ・環境が変えられないための特殊な車椅子、発達障がいの親子のための買い物可能な車椅子、人工呼吸器、バッテリー、酸素ボンベを搭載できる防災車椅子、アウトドア用、オフロード用、など
- ・注文をもらって、現場に行って、環境を見て、注文者と話して。。
- ・つながり→いつもつながれるのが地域包括ケア

<意見交換>

- ・自分らしく生活できる人生の相棒：車椅子
- ・障がい者として社会参加は困難な場面も
- ・買い物などの日常での心の支えが嬉しい
- ・防災・災害対応・避難の際に当事者の意見が非常に重要
- ・体に合った車椅子は、高価でも価値ある車に
- ・困ったときにつなぎ合える地域包括ケアの実現を

ご自身の貴重な経験を共有くださり、沈み込むのではなく前向きに状況や社会を捉えて、関わる人に希望と信頼、夢を与えていらっしゃる事がよくわかるお話でした。

参加いただきました皆さんからも、ご自身や近い方の車椅子との関わりを中心に、貴重な

コメントを多数頂戴しました。

つながって気づき会うことが重要であることを再確認できたすばらしい機会となりました。

桑原さん、本当にありがとうございます！

事務局で、今回の話を受けてできそうなことがあればどんどんつなげていこうと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

<活動の共有>

・大人の遠足（コミバスを利用し、市内の名所を巡るツアー）第 22 弾は 5 月 21 日（日）

10 時～ 行きたい場所募集中！

・5 月 24 日フレイル指わっかの会 プラスいきいきデイ（フレイル関連測定等）@アルプ
ラザ鯖江 2F イベントホール